

城西コミュニティセンター 市長と語る会

日 時：令和 6 年 10 月 29 日（火） 午後 1 時 30 分～3 時

場 所：城西コミュニティセンター

参加者：12 名

担当者：市長、地域担当職員 黒田（税務課）、柚木（庶務課）、野口（教育部総務課）、
鳥井（秘書課）

1. あいさつ

（会長）

今日は、ご多忙の中ご参加ありがとうございます。思ったより参加者が少なく申し訳ないが、少数精鋭で運営しているので、忌憚ない意見が出てくると思う。発言の方よろしく願いたい。市では、ニッカリ青江の行事をやっており、天守閣を見上げると関心のある方は「今日は電気ついていたな」と情報を入れてくれる。城泊は、その値段などいろいろ意見があるが、利用してもらえるのが何よりという想いが強くある。先般、歴史ウォークをコミュニティ主催で行い、20 名ぐらいの参加者がおり、丸亀城内や通町、港の太助灯籠とか、そういうところで散策した。講師は、城泊のほうでもご活躍と伺ったが、やはり市も、いろいろな行事で大変でしょう。500 円のニッカリ青江周遊バスも万象園であるとか、水族館、丸亀駅まで周遊するということで、ずいぶん評判がいいと聞く。ああいう形で参加されると、特に県外から来る若い方、いろいろなところが回れて良い。初めてだと思うが、「ニッカリ青江周遊」となかなかネーミングも良く、良かった。

コミュニティの行事には、この前の丸亀地区の防災訓練、9 月の月見の会など、いろいろな行事をする中で地域担当職員には参加いただいている。市職員との交流の機会があれば、地区の方も安心して、顔を知って話ができれば我々にとってもありがたい制度なので、今後とも引き続きお願いしたい。そうした中で、コミュニティもいろんな行事を抱えている。今日参画されている方でも、いろいろ意見をお持ちかと思うが、許される範囲内でお答えいただければ、有意義な会になると思うのでよろしく願いたい。

（所長）

続いて、松永市長の方からご挨拶を。

（市長）

日頃から丸亀市政において、城西コミュニティの皆様には本当にご理解いただくとともに、多大なご協力とご支援をいただいておりますことにこの場をかりて心から御礼を申し上げる。今、会長から話のあったように城泊事業が始まり、この秋に 1 組 2 人がお泊まりになられた。春にも 4 人 1 組で申し込みを受けており一安心をしているところだ。この城泊は国が推奨し、その支援もいただきながら延寿閣別館を直し、そこに泊まってもらっているが、私は延寿閣別館から見る風景や景色を泊まっていただく人には見ていただきたい。南へ向けての山々は子どもの頃からずっと見ているが、おとぎの国のようなおむすびの形をした山がポツポツあり、県外からの方など、初めて見た人にとっては何か不思議な感じがするので私もそこでご案内し

ている。あそこが金比羅さんの象頭山、♪こんぴら船船追い手に帆かけてしゅらしゅしゅしゅ回れば四国は讃州、那珂の郡、象頭山こんぴら大権現、と歌って紹介するなかで、先には綾歌三山が、その奥には讃岐山脈、四国山地まで天気良かつたら見える。その他の、もちろん、さぬき富士の飯野山、南だったら全部見えてもうそれが全部の山々がおにぎりのような独特な雰囲気を示しているということで、大体感激をされるので、そうした丸亀周辺の雰囲気を、味わってもらいたいというふうに思っている。

これはにぎわいづくりということで国が推奨したことであるが、私は成功していると考えている。全国的にもすごく宣伝効果があって、各所で城泊について聞かれ、話題にも上っているので、126万5000円で儲けるという気持ちではなく、これはもう話題性の1つとして、職員も思い切った値段をつけたものだと思う。

もう1つのご報告。昭和町の新浄化センターが今日からフル稼働しており、午前中にいったきた。昭和町の今治造船のまだ北の端にかれこれ40数年ずっと動いていた浄化センターがあったのだが、老朽化して耐震性もないので、今治造船が持っている土地を譲り受け、建物を潰した後の土地と交換する形でつくった。

今日もたくさんの方が来てお祝いを言ってくれたが、こういう新しい場所に作ったケースは全国的にも珍しいとのことだった。今回は今治造船にもかなりご協力をいただくことで、本当にうまくいった。すべて最新型で、電気を発電するというシステムを入れており、SDGsやカーボンニュートラルにもかなった形を追求した浄化センターである。もちろんこのあたりの下水が全部流れる施設であり、それがオープンした。今日、国土交通省の方もこられて、お褒めの言葉をいただいたが、電気を作るというシステムも、全国で「初」だそうだ。その他、丸亀が初めて取り組んだというのが、細かい部分でもたくさんあるので、皆さも見学する機会があれば是非。私も今日1時間かけてずっと見学し、本当に良いものができて、ありがたいなというふうに思っている。その他いろいろとあるが、今日はいつも通り忌憚なくざくばらんに意見をいただければ。よろしくお願いします。

2. テーマによる意見交換

(所長)

意見交換に入る前に、市長から今年度の重点プロジェクトについて要点を簡単に説明いただければ。

(市長)

本年度から取り組んでいる「ひとづくり」について説明させていただいて、そのあとご意見等いただければ。

丸亀市では将来を見据えて人づくりを推進しており、市民が主体となった協働のまちづくりをさらに進めるため、今年4月から協働推進部という新しい部を創設しました。私が市長になって4年目でありまして、任期があと残り6ヶ月をきりましたが、市政の運営をするにあたって最も大切にしたいと常々考えていることは、人である。人が育って、人がまちをつくって、いつの時代においても、人づくりがまちづくりの土台であるというふうに私は考えております。

そして、市民主体の持続可能なまちづくりの実現に向けて、よくいう官民協働、市と市民の皆様方が一緒に動く・働く、誰もがまちづくりに参画できる環境を整えて持続可能な丸亀市を協創していきたい。それと、今後いつ起こるかもしれない、南海トラフ地震、大規模災害への備えとして、自治会や自主防災組織など、地域住民による、共助の取り組みの重要性を今現在、改めて認識をしている。能登の災害が一月に起こり、そこには、50 年来の親善都市である七尾市もあった。そこへ私も行って、職員も半年間 3 人ずつ毎日、土日はもちろんゴールデンウィークもずっと手伝いに入っていた。それと土木技師も 1 人派遣して、ずっとそこで働いている。いろんな報告を受けているが、やはり結局は、地域住民が助け合うというのが一番重要ということに改めて思うし、地域の皆様の活躍による地域力の一層の高まりが安心に暮らせる住みやすいまちにつながるものと考えている。丸亀市としても、地域のご協力のもと、地域を中心に、元気で活力あるまちづくりに向けた取り組みを進めるべくこの 4 年間も一生懸命取り組んでおり、これからも取り組んでいきたいと思っている。

そこで今年の予算の特徴として、具体的な例を挙げる。

1 つは、教育関係で教育委員会と話し合っ「人づくり石垣プロジェクト」をこれから 5 年間行う。これは、丸亀市の単独の予算で、小・中学校の講師の先生方、支援員、補助員、ALT のほか、その他スクールソーシャルワーカー、ベテランのOBの先生方には相談業務という形で、51 名の人を追加で雇う形で、この春に予算をつけてやっている。

コロナの時代に学校がたくさん休みになり、その間にいわゆる不登校児童が増えた。コロナ前から比べると、全国的にもそうだが、丸亀市も約倍ほどの不登校児童が増えた。それをどうにかしなければいけないという思いから、新たに 51 名を雇うという事で、1 年半前に教育長に話をしましたところ、教育長からもやりましょうと。ただ、予算をつけてもなかなか手がないということで、教育長とも相談して、もう困ったら教育長みずからが、一人一人の方々に、状況を説明し、その仕事に就いてほしいとお願いをして、という形をとりましょうと。正直学校の先生は大変なご苦勞をされており、退職したら多分燃え尽きているのだと思うが、そのあとに続けて講師をする方が本当に少ない。そこを中心に、もしくは免許を持っていたり、辞めている方などにお声がけをした。補助員、支援員は、教職を持っていないでもできるため、その辺りも一人一人にお願いして、今現在は 51 名を雇うことができている。これに予算をつけて、担任・副担任の先生方が少しでも子どもたちと直接向き合うことができるようにと取り組んでいる。最終的には、学力をしっかりとつけるという目的はもちろんあり、5 年間やっておそらくちゃんとした結果が出ると思うので、できれば続けていきたと考えている。

その他には、東日本大震災、阪神淡路大震災でも命を助けたのは、近所の地域住民の助け合いというのが、一番。その後の能登のことも考え併せると、ご近所同士の繋がりが一番大事と考えている。そういうことにあたって、自治会一軒あたり、それまで長い間 300 円という補助金を出していましたが、今年の 4 月から実は 600 円になった。600 円にしたところで大した金額ではないということではなく、丸亀市の地域の自治会活動を大事したいという思い。そういうことで、一軒当たり倍の 600 円にした。それともう 1 つは、自治会長に本当にご苦勞をかけている。活動をするにあたってポケットマネーを使うなど、いろんなことがあることから、自治会長手当というものを、年間、多少であるが出しており、実はこの手当も 1.5 倍以上ぐら

いにはした。自治会の大きさによって違うし、これも焼け石に水だとわかっているが、自治会長手当も上げて、ますます自治会長、どうぞよろしく願いしますという思いだ。具体的にはそうした形で、人づくりに対して、最初に言った部門も創設したので、市民と一緒に官民協創を進めたい。

これは一般市民の方が、コミュニティの方々、NPO法人、自治会の方々などのいろんな団体や、丸亀にあるたくさんの企業も一緒になって、まちづくりに取り組んでもらおうと。企業の例を挙げると、四国の企業 100 社以上が集まった四国サポーターズクラブで、にぎわいを作ろうという町を 1 つずつ選定して、3 年間活動している。これは、JR 四国、日本郵便、四国電力の 3 つが中心ですが、丸亀ではその他、大倉工業、四国化成、今治造船などたくさんの企業もそこにはいって町を応援しようと動いている。これ実は、最初に選んでくれたのが今から 3 年前。四国の中で丸亀市を選んでもらったが、私は、そんな時代が来るとは、議員をしながらも想像できなかった。企業がお金・人を出してくれて、いろんなことで町のにぎわいづくりや、いろんな問題解決と一緒にしてくれるということで、丸亀でもたくさんしてくれている。先週は、資料館でニッカリ青江展をしまして、これ、全国からたくさん、特に若い方がこられる。オンラインゲーム刀剣乱舞、そこから「ニッカリ青江」に火がついて、北海道や九州からも来て、毎回来ているという人もいた。この期間中、丸亀のホテルはいつも満杯で予約が取れない状況だ。また、芝生広場で、わくわくキッズ体験というイベントを 3 年間ずっとやってくれており、いろんなブースを設けて、その企業がどんなことをやっているかを子どもたちと保護者に体験してもらったイベントである。今週たまたま小雨が降っていたが、たくさんの方が来られていろんな体験をしていた。そのような形で、結局は人がまちを作るという想いで、そのことに分厚く予算をつけている。

今年の 8 月 20 日から 6 年越しでやっと崩れた丸亀城の石垣の 1 つ目を積み上げているが、「人づくり石垣プロジェクト」は、その年になぞらえて、「石垣プロジェクト」という名前を、教育委員会と市が考えて作った。それに沿って、教育委員会の先生方のご苦労され、子どもたちをもう一回コロナ前まで、もっとそれ以上に良くしようと取り組んでいる。

(所長)

これに対するご意見ご要望ありましたら、お願いします。

(市長)

正直申しまして、どこのコミュニティで市長と語る会をしても、だいたい次の担い手が不足しており、そのうえ、市から仕事が多すぎてそれをこなすのが精いっぱいだというようなご意見をいただく。そういった中であえて、私はやはり市民の皆様と行政は一緒にまちづくりをすべきとっておりますので、本当にご苦労されていると思う。また、市の方からなにからなにまでどんどん行くだけでなく、一緒になってやっていければという思いを持っている。しかし、人口減少を迎える中で職員数を増やすわけにもいかず、現状維持を議会の方に私もお願いするのが精いっぱい、やはり職員を増やすことができない。

私は市の人間だが、市ではかなり職員の仕事量が増えてきていると実感している。10 年前と比べても倍、20 年前に比べると倍以上になっているとつくづく感じるほどの仕事量だ。これもやはり多様性と、これまでの積み重ねだ。私も市長になって新しい施策などを 60 件、数えたら

もうやっているのだが、これは今までの仕事にプラスだ。予算は今まで 400 数十億円から 500 億円ちょっとだったが、私が市長になってから 600 億円台、今年はもう 700 億円を超えている。予算がこれだけ増えているということは、それだけ事業・仕事が増えているということなので、その辺りもご理解いただければ。

学校関係予算も増えているが、一番大きいのは、小中学校と幼稚園、こども園、保育所の建物と施設改善、改修に今年の予算で 200 億円を超えている。その前の年も前々年も 100 数十億円。これは 50 年前にボートレースの景気がいいときにどんどん鉄筋コンクリートの施設を作ってきて、その更新などが一挙にくるため、同じように一挙に作っていかなければいけないという状態になっているが、いまもう物価高騰で大変苦しい状況だ。

今は、城南・城坤小学校も全面大改修を行っており、城東小学校は、これは国の指導で、建物の基礎的な部分を使って大改修しなさい、そしたら大体 6 割から 7 割ぐらいでちゃんとできるから、という指導を受けながら進めている。城東小学校は、土器川のすぐ横で、平成 16 年ごろには、下駄箱が浮き、学校自体が床上浸水したこともあり、大雨が降るとその影響が懸念される。そこは全部建て替えになる。どんどん物価が上がって、城東小学校の全面建て替えはもう 50 億円を超えてしまう。これまで作った城西小学校、城北小学校これ全部建て替えて、とてもいい建物ができましたが 20 億円かかっている。

(男性)

城西小学校もか

(市長)

はい。1 つの学校で 20 億円程度、城北も同じようなもので、両方あわせて、全部ひっくるめても、50 億円かかっている。

それが、城東の建築だけで 50 億円を超える。公共が建てる建築物は、申請がものすごくきつくてかなりしっかりしたものを作ることになっているので、民間も高くなってきているとはいえ民間が作るよりはかなり高い。これも城東小学校が一つの例ですけど、地盤改良として、杭打ちを 200 何本しまして、頑丈なものを建てる。もちろん城坤小学校、そのほか綾歌中学校の体育館だとか、これから控えているが、やはりやっていかないといけない。

(会長)

「人づくり石垣プロジェクト」の中で中学校の体育館の空調も整えると耳にしたが。

(市長)

予算は付け、すでに工事に入っているところもある。綾歌の体育館が建て替えているところで、最初エアコンは予定していなかったのだが、急遽エアコンを全部つけるようにと。飯山中学校にも。

(会長)

飯山と綾歌、丸亀の南・西・東と、どの程度の空調になるのか。城西は比較的災害が少ないとは言え、やはり、小中学校は、身近な避難所ということを皆さん感じているので、空調設備ができることは、非常にいいと思っている。

(市長)

費用はかなりかかるが、教育委員会と私もそう決断したのは、昨年度、東北のほうで中学

校の部活動の帰りに亡くなった事例があつてのこと。その現状を細かく聞くと、脱水症状で倒れる子がたくさん出ていると。それだけ日本の国で一挙に気温が上がって、湿度もかなり高くなってきている。そんな状況で、まずは子どもの健康と体育を考えるとやはり空調は作ったほうがいい。もちろんここは避難所になっているので。

(会長)

この前丸亀高校の防災訓練にコミュニティと川西とで一緒に協力して行つたのですが、その際、体育館にもものすごく大きい扇風機があつた。今までだと、小学校にあるのは、工場でよくあるような橙色系統のものだったのですけれど、丸亀高校のものはすごかった。あれは今年導入されたのでしょうか。風もよく通る。

(市長)

推測だが、多分県がお金出したのでは。空気が回転するだけでも、全然違う。

(会長)

県が出したと言っていた。

話が変わるが、小学校はなかなか数も多いし、高松ではいくらか小学校が合併した。それでも丸亀は合併していないので、なかなかたいしたものだ。子どもたちが減り、合併するのがいいのか私もよくわからないが、高松は中学校もよく合併している。住民の人といろいろお話聞いたりすると、良くはないと思うが、市がいろいろやっているからしかたないという。

(市長)

これは2つの考え方だと思うが、地区の子どもが少なくなって、少人数でも学校を存続するのが子どもたちにとっていいのか、やっぱりある程度の人数を確保してやるのがいいのか。それは両方の考え方があり、私なんかは、多少人数がいたほうが切磋琢磨出来ているんな経験が出ていいなと。

(会長)

城西小も西中もそうだが、子どもたちが快適に生活できているし、小学校の1階に小さい1~2年生用のトイレがあることにも感心した。

(市長)

今丸亀が作っている学校は県内の他の施設と比べても良いものだし、環境だけはよくしている。城西小学校・城北小学校、西中学校にしても、施設というのは、後になればなるほどどんどん良くなっていく。完全新築する城東小学校も出来上がったら一回見てほしい。

(会長)

あれは完全に建て替えるのか。はじめはそうではなかったように聞いていたけれど

(市長)

昔からきちっとした規定で検査をしながらやってきたはずだが、検査をしたら使えないことがわかったため、その検査の結果となる。

あと、先ほどもあつた体育館の空調。まだ新しい、例えば西中学校体育館であれば、建物の壁などがきちつとなっており、エアコンの効きがいいはず。建築年数のたった建物に同じものをつけたとしてもこれは空気が逃げてしまうかもしれない。

(女性)

教育のところで、51名の職員の方はよく集まってくれた。

いま、すごく難しい状況で、何かが起きたときにこの51名の方が一人で抱え込まないような問題解決の仕組みを考えて、長続きするようにしてほしいという要望が一つ。

もう一つは人づくり。市を挙げての婚活イベントなどを考えていただいたら、

(市長)

去年開催し、16組のカップルが成立した。

(女性)

需要はあるので、もっと大々的にどんどんやっていただきたい。

(市長)

すぐには人口の推移に効果がでないが、これもいろんなところで行政がやっている。昨年度、16組成立したが、びっくりしたのが、最初に男性だけの講習が3回あり、1回目は男性だけの半日講習だった。内容は女性への声のかけ方、パーティの際、複数の方とお話しして移っていくときのやり方などで、専門家の講習。私はそれを聞いて、それ20代の独身の時に受けたかったなと、私の人生変わったと思う。その講習を受けて、過去何回かやったことがあるのだが、今まで2～3組のところ、16組というびっくりする数のカップルができた。その後どうだったかは、定かではないが

(女性)

そういうのは何回もやってほしい。

(市長)

私もそういうのは好きだ。要望としていただく。

(女性)

周知はどのようにしているのか。知らない人も多い。

(市長)

婚活ですか？これはホームページと広報と

(鳥井担当長)

この件について担当課が来ていないので明らかではないが、おそらく市長が言われたようにホームページや広報など、いろんな媒体でお知らせしていると思うが。

(女性)

私は今、初耳だった。

(鳥井担当長)

今は、市の公式LINEの方も運用して情報発信に努めているので、そういったところもぜひご登録いただけたら。

(女性)

親世代が知って、子供たちに「行きな」と言っても、なかなかハードルがあるが、子どもたち世代がみんな「こんなあるんや」という形になると、行きやすいかなと思うのでよろしく願います。

(所長)

それでは本題のほうに入る。

城西コミュニティの方から3点ほど、大きな問題点ということで事前に市のほうにお示ししている。簡単に説明させていただく。

まず城西コミュニティセンターのこの駐車場の問題。ご存じの通り前の県道204号線について、県の公道拡張工事でこの城西コミュニティセンターはその道幅から約2メートル内側に入り込むため、本格的に敷地内にピンを打つことになり、今現在停められている駐車場が約7台分は潰れてしまう。今でも20台停めるといっばいで、利用者からも「どこかほかに停められるところないか」とか言われるが、有料駐車場がすぐそばにあるというわけでもなく、皆さん苦労されている。ある時は、もう混雑してここの職員が交通整理にあたったら、ドライバーが車をぶつけ、「おたくの誘導が悪い」と、トラブルになったこともあり、それ以後は、貸し館予約受付のときに、利用者の人数、車の台数などを聞きながら、調整している。今は車社会で、ほとんどの方が車で来られる。ここへ自転車やバイク、歩いてこられる人というのはすごく近くに住んでいる方だけで、ちょっと遠くに住んでいる利用者の方が多い。よそのコミュニティは結構駐車場が広いということもあって、ますます年々ここの利用者数が減ってきている。駐車場をどうにか近くに確保して欲しいという話も市の方にはもう前々から言っているが、実際問題、なかなか難しい点があるというところ、というのが1点。

2点目は、今テレビのニュースなんかで「ライブ119」という言葉を聞くことがある。全国ニュースで女子高校生が、事故に遭った人の介護をするといういで、携帯電話のライブ映像を消防署に送って、消防署がその映像を見ながら指導して命が助かったということもあった。今現在、香川県では、唯一高松市がそれを実施しているということだが、丸亀市は香川県第2の都市であるので、そういうことも考えて欲しい。

それから3点目、毎年海の方でやっていた花火大会を今はレオマの方でやっているということで、こちらの人はですね、できれば次は港の方でやって欲しい、交代でもやってほしい。市の方は経費の問題とかそういうふうなこともあると思うのだが、全国的に見ても、花火大会は大体海の方でやっており、テレビでもよく見受けられる。再開できるのであれば、そういうふうな交代でもやって欲しいというのが、3点目。以上。

(市長)

回答させていただく。まず、コミュニティセンター前の県道204号線の歩道を広くするという件。これについて、私が市長になって、いの一番に県知事に要望を持っていったのだが、考えに考えて5つに絞った中の1つがこれだった。

当時の浜田知事から「前向きに進める」と返答を受けて、それが今やっと進んだ。実際、駐車場に迷惑をかける形になっており、申し訳ない。もっと早くから取り組んでいたらよかったが、市としても、また皆さん方、会長と一緒に近隣の借りられるような駐車場を探していくという方向でもちろん進める。それでも十分ではないとは思いますが。

前の県道は通学路で交通量もあるので、拡張はすべきだと思うので、駐車場のことは一緒になってやっていくので、どうかまたご協力をお願いしたい。

それと、「ライブ119」。これについて、やっていくとの意思統一は市ではできている。6年の9月定例会で、内田議員にも議会でご紹介いただいた。具体的には、来年度、指令システムの更新に合わせて、このライブ119のシステムを導入する予定で進めている。

来年の4月から1年間かけて試験運用をして、令和8年4月からは、全面運用という目標に行きたい。このライブ119の運用には、専用の管理端末が必要で、現在の指令システムで運用する場合には、指令室以外に追加で用意した端末で運用しなければいけないということだ。運用上、今の指令室からそのために別の部屋行くことはできないので、システム更新のタイミングで新しい端末機を入れてから、来年度導入する。全面運用については、令和8年4月を目標として行う。

3つ目の夏の花火大会の場所について。私は花火が大好きで港で上げる花火を楽しみにしていた。コロナの前までは港でやっていて、そのあとしばらく中止になって、コロナの行動制限が解けてから花火大会の話を進めようとした際に、かなりの反対があった。この理由として一番大きいのは、やっぱり火事の危険性があるということだった。

丸亀港の上から打ち上げていたが、丸亀港は狭いうえに四方が工場に囲まれており、どっちに風が吹いた場合でも、屋根の上にすごい量の火の粉が落ちていた。丸亀の花火は昔からやっているが、工場や家がどんどん増え、屋根の上に火が付いたまま落ちていたってというのが実状。職員は総出で掃除もしていたが、屋根の上は掃除できない。そういった迷惑もかなりかけていた、要は火災の可能性、危険性というのがかなり高くなってきたというのが一番の原因だ。それともう1つ、毎回、職員総出で警備に出るのだが、丸亀の花火は香川県の中でもものすごく人気があった。たくさんの方が来るため、交通渋滞は皆さんご承知の通りで、近隣に住む方は、その日3時間4時間家から出られないし、帰ってもこられないということで、地域の皆さんも我慢してくれていた。私は高松も坂出もいろんな花火を見たが、丸亀が一番。一番近くで見えるし、ドーンと大きな音で一尺玉を上げる。それもあってたくさんのお店も出て人が来る、そうなれば、そこで大きな事故があったらということで、警察の方はそれに対してもうピリピリする。その辺で、当局からはいつも指導をいただいていた。

また、コロナ前最後の花火大会が令和元年あって、特別すごい人が来て、様々な問題がいっぱい起きたので、それを受けて、コロナ明けにやるという説明に行ったときに、地域の方々からは猛反対の声があがった。私もやりたかったので直接行って説明をしたり、商工会議所の青年部や主催の方々にも地元の方々との話し合いにも一緒に出てもらったりして話を聞いてもらって、これは仕方がないと断念をするに至った。それが正式に会合で決まってから、すぐに私がレオマの社長に直接相談に行った。レオマの森は正直言いますと山のほうで、過去のような大きいものは上げることが難しいところはあるが。それで、2回目となった今年はドローンを工夫して準備してくれたが、台風で中止になってしまった。

(会長)

レオマでの費用は、市も多少補助しているのか。

(市長)

花火代だけのみ。レオマは音楽と一緒に上げて、レーザー光線で演出している。レオマの中で見たらものすごく良かった。ただ、大きいのがないので外から見た人にとっては、ちょっと迫力に欠けたかもしれない。当日、レオマには丸亀市民全員無料で入れて、たくさんの人が花火を見られる。これはレオマが無料にしてくれており、市で負担しているのは花火の打ち上げ費用だけ。その他、いろんなことにレオマが全面協力してくれている。今年の夏だっ

たらドローンがあったが、本当に良かった。ドローンがブーンという音を出して、それが丸亀城を出したり、うどんを出したり、うちわを出したり、丸亀に関連したことばかり。コンピュータで全部動かすのだと思うが、あれ、風が多少吹いても大丈夫なようで、とてもきれいだった。

結論としては、今までのように港でやりたいのが本音であるが、現状を見ると難しいため、2年前に港での打ち上げは辞めるという発表に至った。私としては、代わりに丸亀の中のどこかでやりたいが、幹部との話し合いの中でやはりレオマの森が適当だろうということになった。もともと花火があり、全面協力もしてくれている。

(会長)

でも郡家の方でも、冬の花火大会をしており、あれもなかなか好評らしいと聞く。

(市長)

私も案内をいただくがシークレット花火ということで、お客としてではなく、家内と二人自転車で行って見ている。郡家も本当にいい花火だ。それでもたくさんの人が見ていて、渋滞がすごい。

(会長)

今年も冬にするということで、これからなかなか大変だろう。

(市長)

これ、市が関係したら当局は今のままではさせてくれないと思う。やはり公がするとなったら、正直、すごく厳しい条件を提示される。例えば、交通整理のガードマンを誰にせよとか、今の方たちがやっている人数の5～6倍の人数を要求される。

(会長)

レオマの方はしばらく続くのか

(市長)

レオマには、今のところそういうことでお願いしている。

(会長)

私はレオマへ行く機会があまりないので、どんなものか様子がわからない。

(市長)

昼の2時から以降はレオマの入園は無料なので、若い人はその時間から入って遊んでいるが、大体の人は5時くらいに行って8時から花火なのだが、中から見ると見事なものだ。

(会長)

ただ、丸亀の港の分は、やっぱり遠くからでも見事だというのがわかる。

いろいろお話ありがとうございました。

1点目は、市の地域づくり課の課長もいろんな努力してくれて、できれば早い時期に見通しがつけばなという思いでいる。関係者との話し合いで予算が伴うが、できるだけスムーズにいけるようお願いしたい。そうでなくてもなかなか狭い駐車場である。

(市長)

私は川西だが全然足りない。行事をするために私は病院の駐車場を借りる係だが、20年ぐらい借りている。

(会長)

川西も場所的には薬局があって利用するとしても、なかなか難しい問題もある。この駐車場につきましては、担当課の方も尽力していただいているので引き続きお願いする。

(市長)

私が県に要望してこうなったということで、また改めて市長指示をしておく。

(所長)

これは別件だが、市役所の（東側の）駐輪場は屋根がついているが、以前ガソリンスタンドがあった三角地帯の駐輪場には屋根がない。あそこにも屋根をつけて欲しいという意見があった。

(市長)

今言われたところは、自転車の数が多くて、臨時で急遽駐輪場にしたものである。今、都市計画課が中心になって、今後の駐輪場について、配置を考えているが、あそこは後から急遽話があがったということでたちまち駐輪場にしたもの。あれを永遠に駐輪場にするということであればきちっとする必要がある。

(会長)

利用している学生がいるので、できるだけ要望のような形で。

(所長)

マルタスの東側に駐輪場があるが、屋根がついていない。そこも利用者はちょっと難しいな。

(鳥井担当長)

駐輪場の屋根については、担当課の方に確認させていただく。

(市長)

生涯学習センターを壊して、今はそのあとに緑化駐車場をと思っているが、それで台数がそれで足りるのかという議論もしている。駐車場をどうする、(仮称)物産館などもどうするのか、あそこ全体の話で。今、臨時駐車場としているところは公園に戻さないといけないので、そこをどうするのかなど。

(会長)

あそこはまた公園に復元するのか

(市長)

公園に以前、石の滝があったが、あれは全部国からお金をもらってやっているんで、滝を復元まではしないが、ある程度休憩が出て、軽い食事ができて、物産の販売などもできる、例えば観光案内所のちょっとだけ大きくておしゃれなもののような。

(所長)

観光案内所はやっぱりお城の中で継続は難しいのか。

(市長)

建て替えができない。国の史跡指定をされており、石垣の修復でも国から7割補助してもらっている。そういった面もあり、国のルールを守らなければならない、外へ出さなければならない。ただし資料館だけは史跡に準ずるのでそうしたことはない。

だから、この辺の駐車場のところはね、多分都市計画課の方できちっと考えており、時間がか

かるのは確か。私1人で決められたら早い、というのが現実だ。本日、要望はしっかりと承った。

(会長)

ほか、なにかあるか。

(女性)

外堀公園の中を通っている道にかなり劣化した歩道があるが、一度も舗装しなおしたことがないと思う。小さな石がポコポコ出ていて亀裂も入っていたり、鉄板が両サイドに2センチくらい出ていたりして、子どもやお年寄りがひっかかったり、段差で転倒することもある。私自身も6月3日に転んで、市役所の人に言ったらすぐ見に来てくれたが、「亀裂は直せるが、全部を舗装するには予算措置が必要だ」と言ったきりで、亀裂のたくさん入っているところさえもまだ直っていない。お子さんやお年寄りも結構利用されているので。

劣化して、小さい石や鉄板が出ている。けがをしたら市の責任になる。

(男性)

アイレックスは、市民会館ができれば使わないのか。

(市長)

アイレックスはアイレックスで存続を強く願われている。よく使われているし、ここは今度全面改修する予定だ。

(女性)

障がい者の娘を車椅子で連れて行ったりするが、障害者用の駐車場が東側のすごい奥にあって、「障害者用駐車場」とか書いていない。行った時に障害者用駐車場はどこですかと聞いたら東側の奥と案内された。2回ぐらいそんなことがあって、先日また夜のコンサートに娘を連れて行ったときにもやっぱり何も表示がないので聞いたら、建物の前面の屋根がついているところの一番西の端に案内されたがもういっぱい、ちょっと雨の降るところに停めざるをえなかった。それもやっぱりにわかには作ったようで、障害者駐車場とは書いていなかった。やっぱりそこら辺、細かいことだが。ロビーの真ん前は。あれだけ広いのにわかりやすくしてくれると親切だと思う。トイレも建て直すから次のときはきちんとあると思うのだが、障がい者用のトイレがロビーから入ったところに1つしかない。

これまで娘を連れて行ったことはなかったが、最近、娘をそういうコンサートに連れて行ってやりたいと思って行ったら、今まで気がつかなかったところに初めて気が付いた、

(市長)

私も気が付いていなかった。

(女性)

一番奥でね。それもきちんとは表示していない。何か不親切かなと、やさしい丸亀にしては。

(市長)

これ駐車場の表示だけでも改修する前には。

(女性)

改修するまでもまだまだ機会はあるので、きちっとわかりやすく、表示してくれたらありがたいかなと。雨なんか降るとなおのこと。よろしく願いしたい。

(市長)

太い文字で。大至急何とかしたい。

(所長)

かなり時間をオーバーしているため、この段階で終了する。

(会長)

これからもよろしくお願いします。

(市長)

貴重なご意見、ありがとうございました。